

第1日 3月23日(土) 9:00~10:30

時間	A 会場 L1321 果樹 I	B 会場 L0021 果樹 II	C 会場 L0026 果樹 III	D 会場 L0011 野菜 I	E 会場 L0012 野菜 II	F 会場 L0013 野菜 III
9:00	<p>育種 (カキ・キウイフルーツ) 佐藤明彦</p> <p>果 001 カキ '刀根早生' と九倍体系統花粉の交雑が種子形成および後代の倍数性に及ぼす影響 ○石坂晃¹・千々和浩幸¹・朝隈英昭¹・田尾龍太郎² (¹福岡農総試,²京都大院農学研究科)</p>	<p>不和合性・遺伝子解析 (ニホンナシ) 和田雅人</p> <p>果 023 ナシ果実の着果および成長に伴う植物ホルモンの関連遺伝子の発現解析 ○森下恭行¹・田中誠之¹・児玉克也¹・西谷千佳子²・山本俊哉²・羽生剛³・村山秀樹⁴・板井章浩¹(¹鳥取大農学部,²農研機構果樹研,³愛媛大農学部,⁴山形大農学部)</p>	<p>放射性物質 金山喜則</p> <p>果 046 休眠期に汚染されたカキの葉中および果実中放射性セシウムの挙動および樹体除染処理効果の検証 ○阿部和博¹・佐藤守¹・瀧田克典¹・湯田美菜子¹・味戸裕幸¹・大野剛²・菊永英寿³・大槻勤³・村松康行²(¹福島農総セ果樹研,²学習院大農学部,³東北大電子光理学研セ)</p>	<p>育種・品種特性(トマト) 田淵俊人</p> <p>野 001 トマト黄化葉巻病抵抗性系統 TY172 および TY197 の抵抗性評価 ○斎藤新¹・齊藤猛雄¹・松永啓 (農研機構野菜茶研)</p>	<p>花芽分化 (イチゴ) 野口裕司</p> <p>野 022 四季成り性種子繁殖型イチゴの促成栽培における長日処理花成誘導 ○井口工¹・森利樹²・小堀純奈²・前田ふみ³・曾根一純⁴(¹香川農試,²三重農研,³千葉農林総研セ,⁴農研機構九州沖繩農研)</p>	<p>栽培 (タマネギ) 山下謙一郎</p> <p>野 042 2,3月まき夏どりタマネギりん茎の葉の構成に及ぼす品種および播種時期の影響 ○山崎篤¹・森山真久¹・松尾健太郎¹・山崎浩道¹・濱野恵 (農研機構東北農研)</p>
9:15	<p>果 002 カキの六倍体と十二倍体の正逆交雑による種子形成の差異 ○千々和浩幸¹・朝隈英昭¹・石坂晃 (福岡農総試)</p>	<p>果 024 ニホンナシの自家不和合性に関する研究 (第62報) ボルドー処理によるハウス '幸水' の無受粉・無摘果栽培の検討 ○林田大志¹・三井友宏²・伊藤寿²・名田和義¹・平塚伸一¹(¹三重大院生物資源学研究所,²三重農研)</p>	<p>果 047 休眠期に汚染された落葉果樹の放射性セシウムの樹体内への移行経路の解明 ○佐藤守¹・阿部和博¹・大野剛²・高田大輔²・高瀬つぎ子⁴・河津賢澄⁴・田野井慶太郎³・村松康行²(¹福島農総セ果樹研,²学習院大農学部,³東京大院農学生命科学研究科,⁴福島大理工学類)</p>	<p>野 002 秋冬および春夏期における養液および土耕栽培でのトマト品種の収量性の比較 松永啓¹・佐川友成²・齊藤猛雄¹・斎藤新¹(¹農研機構野菜茶研,²(株)浅井農園)</p>	<p>野 023 処理時期と処理回数がイチゴに対する間欠冷蔵処理の効果発現に及ぼす影響 ○吉田裕一¹・石井紀美子¹・稲角大地²・後藤丹十郎¹・村上賢治¹(¹岡山農学部,²岡山大自然科学研究所)</p>	<p>野 043 タマネギ品種の夏どり作型におけるりん茎肥大開始時期および関連する生育指標と積算気温との関係—2月まき4月定植と3月まき5月定植との比較— ○森山真久¹・山崎篤¹・山崎浩道¹・松尾健太郎¹・濱野恵 (農研機構東北農研)</p>
9:30	<p>果 003 シマサルナシとチネンシス種キウイフルーツの種間雑種選抜系統の果実特性 ○松本曜¹・中村南美¹・十川由貴¹・末澤克彦²・山下泰生²・別府賢治²・山本俊雄¹(¹香川農試中果樹研,²香川農試中果樹研)</p>	<p>果 025 BAC-FISHによるニホンナシ黒斑病原因遺伝子領域の可視化 ○山本雅史¹・寺上伸吾²・高田教臣²・山本俊哉²(¹鹿児島大農学部,²農研機構果樹研)</p>	<p>果 048 落葉果樹における部位別放射性セシウム濃度の経年変化と除染の効果 ○湯田美菜子¹・佐藤守¹・阿部和博¹・額田光彦¹・斎藤祐一¹・山口奈々¹・瀧田克典¹・味戸裕幸¹・田野井慶太郎⁴・大野剛²・菊永英寿³・大槻勤³・村松康行²(¹福島農総セ果樹研,²学習院大農学部,³東北大電子光理学研セ,⁴東京大院農学生命科学研究科)</p>	<p>野 003 イタリアのトマト品種における食味成分の特性 ○古川一¹・前田千尋²・松永邦則³・竹下心平³・田中秀幸¹・小田雅行¹(¹大阪府立大院生命環境科学研究科,²大阪府立大生命環境科学部,³バイオニアエコサイエンス(株))</p>	<p>野 024 非低温処理時の光条件がイチゴに対する間欠冷蔵処理の効果発現に及ぼす影響 ○稲角大地¹・吉田裕一¹・後藤丹十郎¹・村上賢治 (岡山大院自然科学研究所)</p>	<p>野 044 北海道におけるタマネギ高畦移植栽培の有効性 ○遠藤一也¹・中村克俊¹・田中理恵²・樋口裕二²・大波正寿³・柳田大介³(¹JA, ²ところ, ³北海道網走農政セ,⁴北海道北見農試)</p>
9:45	<p>果 004 シマサルナシとチネンシス種キウイフルーツの交雑個体の特徴 ○末澤克彦¹・山下泰生¹・牛田泰裕¹・片岡都雄²・松本曜²・別府賢治²・山本俊哉³(¹香川農試中果樹研,²香川大農学部,³農研機構果樹研)</p>	<p>果 026 ニホンナシ <i>S4-RNase</i> 周辺 BAC コンテイングの拡張による新規 <i>PpsFBB4</i> 遺伝子の探索 ○岡田和馬¹・市川雄彦¹・安田(高崎)剛志 (神戸大院農学研究科)</p>	<p>果 049 摘果果実を用いたモモ成熟果の放射性 Cs 濃度の予測について ○高田大輔¹・佐藤守²・阿部和博²・安永門理子¹・田野井慶太郎¹(¹東京大農学生命科学研究科,²福島農総セ果樹研)</p>	<p>野 004 '桃太郎' と 'Geronimo' を両親とした組換え型自殖系統集団 (RILs) の収量, 果実糖度等の特性 ○松永啓¹・大山暁男¹・齊藤猛雄¹・斎藤新 (農研機構野菜茶研)</p>	<p>栽培 (イチゴ) 吉田裕一</p> <p>野 025 促成栽培で使用後の株を閉鎖系植物工場で再利用することによるイチゴ夏秋どり生産体系の確立 萩原勲^{1,2,3}・村上拓也¹・福澤麻里奈¹・望月佑哉³・福家光敏³・二宮伸哉²(¹東京農工大農学部,²東京農工大農学部,³東京農工大農学部農学研究所)</p>	<p>栽培・栄養生理 (タマネギ) 柳田大介</p> <p>野 045 富山県におけるタマネギの春まき夏どり栽培の可能性 ○浅井雅美¹・西田秀次 (富山農水産総技七園芸研)</p>
10:00	<p>育種 (リンゴ・ブドウ) 荒川修</p> <p>果 005 リンゴ新品種 'ハニールージュ' ○伴野深¹・森本拓也¹・濱淵康範 (信州大農学部)</p>	<p>マーカー・遺伝子解析 (リンゴ等) 今井剛</p> <p>果 027 リンゴ斑点落葉病罹病性原因遺伝子 <i>Alt</i> のファインマッピング ○森谷茂樹¹・岡田和馬¹・寺上伸吾²・山本俊哉²・阿部和博¹(¹農研機構果樹研(盛岡),²農研機構果樹研)</p>	<p>果 050 ブルーベリーおよびクワシ園における放射性セシウムの蓄積と移行に関する調査 ○草場新之助¹・平岡潔志¹・味戸裕幸²・阿部和博²・齋藤寿広¹・西尾聡悟¹(¹農研機構果樹研,²福島農総セ果樹研)</p>	<p>栽培 (トマト) 池田敬</p> <p>野 005 簡易設置型パッドアンドファン冷房が高温期のハウス内温度, 飽差並びにトマトの生育, 収量に及ぼす影響 ○中西幸太郎¹・光川嘉則¹・嶋津光鑑²(¹兵庫農総セ,²岐阜大応用生物科学部)</p>	<p>野 026 二酸化炭素の局所施用と HID ランプによる補光がイチゴ '越後姫' の生育・収量に及ぼす影響 ○遠藤昌伸¹・種村竜太¹・山本美緒²・榎晴美²・切岩祥和²・糠谷明²・柴田好久³・岡安賢司³(¹新潟農総研園研セ,²静岡大農学部,³岩崎電気(株))</p>	<p>野 046 富山県におけるタマネギの春まき夏どり栽培の単収向上のための栽培方法 (第1報) 植栽2本及び3本定植による栽培の可能性 ○西田秀次¹・浅井雅美 (富山農水産総技七園芸研)</p>
10:15	<p>果 006 リンゴ栽培由来 DH 系統の育種母本としての実用性の検証 ○山口奈々¹・岡田初彦²・佐藤守¹・山本俊哉³・小森貞男⁴(¹福島農総セ果樹研,²東北農林伊達普,³農研機構果樹研,⁴岩手大農学部)</p>	<p>果 028 リンゴ 'ピンクパール' の果肉着色に関わる MYB 転写因子 MdMYBP の機能解析 ○梅村ひとみ¹・前島勤²・小松宏光²・和田雅人³・本多親子³・太田垣駿吾¹・白武勝隆¹・松本吾吾¹(¹名古屋大院生命農学研究所,²長野果樹試,³農研機構果樹研)</p>	<p>カンキツ 1 山田寿</p> <p>果 051 ウンシュウミカン硬皮果皮実の成熟特性 ○中村麻衣子¹・金星原¹・向井啓雄²・八幡昌紀¹・原田久高木敏彦 (静岡大農学部)</p>	<p>野 006 トマト施設生産における CO2 長時間施用のための遮光・遮熱資材の選定 ○河崎靖¹・岩崎泰永¹・安東赫¹・鈴木真実 (農研機構野菜茶研)</p>	<p>野 027 イチゴの有機肥料活用型養液栽培技術の開発 (第6報) 微生物資材処理時期の違いが初期生育と養分吸収に及ぼす影響 ○種村竜太¹・遠藤昌伸¹・安藤晃規²・篠原信³(¹新潟農総研園研セ,²京都大生理化学研ユニット,³農研機構野菜茶研)</p>	<p>野 047 アミノ酸発酵副産物を施用した春まきタマネギ成分のメタボローム解析 ○木村祐太¹・成富正好志²・森太郎²・岡崎圭毅¹・室崇人¹・駒井史訓²(¹農研機構北農研,²佐賀大院農学研究所)</p>

第1日 3月23日(土) 9:00~10:30

G会場 L0022 野菜Ⅳ	H会場 L0031 花きⅠ	I会場 L0033 花きⅡ	J会場 L0035 花きⅢ	K会場 L1331 利用Ⅰ	時間
<p>栽培・生理(レタス) 寺林敏</p> <p>野 064 紫外線除去機能を有するPOフィルムが春どりレタスの生育と品質におよぼす影響 ○佐藤文生¹・山内智史²・白川隆¹(¹農研機構野菜茶業研,²農研機構本部)</p>	<p>収穫後生理1 乗越亮</p> <p>花 001 ジベレリンと塩化カルシウムの前処理がガーベラ切り花の品質と花持ちに及ぼす影響 ○外岡慎・本間義之・貫井秀樹(静岡農林技研)</p>	<p>栽培・作型・発育生理 中村薫</p> <p>花 021 ジュッコンカスミソウにおける夏期高温時の側芽伸長促進と萎縮養生防止法の検討 ○山口訓史¹・原田ゆうき¹・後藤丹十郎¹・村上賢治¹・吉田裕一¹・谷一²・宮内勝久²(¹岡山大学院環境生命科学研究所,²ミヨシ)</p>	<p>トルコギキョウ・栽培・作型 島浩二</p> <p>花 037 都内直売切り花生産にむけた5月まきトルコギキョウの2度切り栽培 ○田旗裕也・岡澤立夫(東京農林総研セ)</p>	<p>非破壊評価 新川猛</p> <p>利 001 ダイコン青変症の透過光による非破壊検出器の試作 ○永田雅晴¹・増田大祐²・池下洋一³・寺西克倫⁴(¹農研機構野菜茶研,²石川農林総研セ,³石川県農林事務所,⁴三重大院生物資源学研究所)</p>	9:00
<p>野 065 植物栽培用蛍光体LEDを用いたレタス栽培の検討 ○坂本勝・大浦央子・久保智樹・藤寛・太田敏博(シャープ(株)研究開発本部)</p>	<p>花 002 STSの前処理とGlucoseを含む後処理によるバラの日持ち延長と品種間差 ○本間義之・外岡慎・貫井秀樹(静岡農林技研)</p>	<p>花 022 気温上昇が福島県におけるリンドウの生育および休眠打破に及ぼす影響 ○矢島豊・鈴木安和・宗方宏之・矢吹隆夫(福島農総セ)</p>	<p>花 038 気象条件の異なる地域におけるEOD-Heating処理がトルコギキョウの生育、開花に及ぼす影響 ○藤本拓郎¹・前田香那子²・岸本真幸²・森義雄¹・久松完³(¹岡山農研,²鳥取農林総研園試,³農研機構花き研)</p>	<p>利 002 タマネギ内部腐敗球の非破壊判別技術の開発 ○西野勝¹・黒木伸一郎²・眞野晃浩³・出口陽平³・中野伸一¹(¹兵庫農総セ,²神戸大院農学研究所,³(財)雑質技術研究所)</p>	9:15
<p>野 066 赤色および青色LEDの交互照射がリーフレタスの生育に及ぼす影響について ○下川陽大¹・荒博則²・殿岡樹樹¹・山内直樹¹・執行正義¹(¹山口大農学部,²昭和電工(株),³山口大LS支援室)</p>	<p>花 003 低酸素保管前のエチレン阻害剤処理がグラジオラス切り花の品質に及ぼす影響 ○湯本弘子・市村一雄(農研機構花き研)</p>	<p>花 023 高温環境下における暗期温度条件の違いがマーガレット属間雑種「風恋香」の生育・開花に及ぼす影響 ○武藤貴大¹・岩崎勇次郎¹・稲葉善太郎²(¹静岡農林技研伊豆農研セ,²静岡県賀茂農林事務所)</p>	<p>花 039 NFT水耕システムによるトルコギキョウ切り花形質の作型間変動 ○福田直子¹・牛尾亜由子¹・中南亮夫²・渡辺幸子³(¹農研機構花き研,²三菱樹脂アグリドリーム(株),³花族)</p>	<p>利 003 スペクトル測定によるシロイヌナズナの育成評価 小澤あつみ・○渡邊絵梨・永田典子・今井元(日本女子大)</p>	9:30
<p>野 067 波長の異なる植物栽培用LED照明を使用した植物工場における葉菜類の栽培 ○秋間和広・宮坂裕司(シーシーエス(株)光技研)</p>	<p>収穫後生理2 大久保直美</p> <p>花 004 バラにおける開花に伴う無機成分含量の変動ならびに品質保持に及ぼす無機イオンの影響 ○市村一雄¹・乗越亮²・湯本弘子¹・望月寛子¹(¹農研機構花き研,²東京農大農学部)</p>	<p>花 024 暗期の設定温度の違いがマーガレットとハナワギクとの属間雑種「風恋香」の生育・開花に及ぼす影響 ○稲葉善太郎・松田健太郎・馬場富二夫・山際豊・岩崎勇次郎(静岡農林研伊豆農研セ)</p>	<p>栽培・作型 田旗裕也</p> <p>花 040 積雪寒冷地のバラ切り花栽培における空気熱源ヒートポンプによる夜間冷房とハイブリッド暖房の効果 ○酒井友幸¹・永塚淳一²・佐藤武義²・伊藤政憲³・佐藤裕則¹(¹山形農総研セ園芸試,²山形県庁,³山形庄内総支産地研)</p>	<p>軟化・成熟・鮮度保持 村山秀樹</p> <p>利 004 音響振動法によるカキ「早秋」の早期熟化の判別 ○鈴木哲也¹・新川猛¹・櫻井直樹²(¹岐阜農総セ,²広島大院生物園科学研究所)</p>	9:45
<p>養液栽培(葉菜等) 佐藤文生</p> <p>野 068 低軒高温室におけるフォグ&ファン冷房が夏季の温室環境および水耕サラダナの生育に及ぼす影響 ○大石直記・佐藤陽介・松浦英之・鈴木幹彦(静岡農林技研)</p>	<p>花 005 ブルーレースフラワーの雄ずい、花弁の離脱抑制法の検討 藤本拓郎・○森義雄(岡山農研)</p>	<p>開花生理 稲葉善太郎</p> <p>花 025 <i>Lathyrus gloeospermus</i> Warb. & Eig.の開放花の開花に及ぼす日長の影響 ○中村薫¹・郡司定雄¹・井上知昭²(¹宮崎総農試,²東京農大長大)</p>	<p>花 041 熱融着性ポリエステル繊維によって固化された培地を利用したポットレス育苗がスターチス・シヌアータの収量と切り花品質に及ぼす影響 ○島浩二¹・松本比呂起¹・楠茂樹¹・大橋佑司²・藤井一徳²・後藤丹十郎³(¹和歌山農試暖園セ,²みのる産業(株),³岡山大学院環境生命科学研究所)</p>	<p>利 005 Propylene and 1-MCP treatments in determining optimum ripening of three kiwifruit cultivars ○Asiche William Olubero¹・小田知里¹・谷川満里奈²・牛島幸一郎³・中野龍平³・久保康隆³(¹岡山大学院自然科学研究科,²岡山農学部,³岡山大学院環境生命科学研究所)</p>	10:00
<p>野 069 西洋ニンジンの不織布を用いた養液栽培 ○寺林敏¹・金谷早紀²・川勝貴史²・伊達修一¹(¹京都府大院生命環境科学研究科,²京都府立大農学部)</p>	<p>花 006 ジャスモン酸メチルがトルコギキョウ切り花の開花および細胞壁伸展性関連タンパク質に及ぼす影響 ○落合正樹¹・太田垣賢吾²・白武勝裕²・松本省吾²・山田邦夫²(¹名古屋大院生命科学研究所・学振特別研究員DC,²名古屋大院生命科学研究所,³中部大応用生物学部)</p>	<p>花 026 間欠冷房処理によるコチョウランの花茎発生及び開花(第3報)花茎発生以降の間欠冷房の効果 ○小川理恵・平野哲司(愛知農総試)</p>	<p>花 042 バラにおける灌水チューブを用いたCO₂ガスの局所施用方法の検討 ○津田千織¹・盛興昌勝²・堀田真紀子³・奥村義秀¹・平野哲司¹(¹愛知農総試,²東邦ガス(株),³尾張農林水産事務所)</p>	<p>利 006 収穫後の貯蔵温度、形態がエダマメの品質に及ぼす影響 ○水野寛士¹・田中仁奈¹・山本達也¹・中野龍平²・牛島幸一郎²・久保康隆²(¹味の素冷凍食品(株)研開セ,²岡山大学院環境生命科学研究所)</p>	10:15

第1日 3月23日(土) 10:30～12:00

時間	A 会場 L1321 果樹 I	B 会場 L0021 果樹 II	C 会場 L0026 果樹 III	D 会場 L0011 野菜 I	E 会場 L0012 野菜 II	F 会場 L0013 野菜 III
10:30	果 007 ブドウと病抵抗性評価法の改良 ○河野淳 ¹ ・佐藤明彦 ¹ ・Cadle-Davidson Lance ² ・Reisch Bruce ³ (農研機構果樹研(安芸芸), ² USDA-ARS, ³ Cornell University)	果 029 リンゴ品種「ふじ」の第16連鎖群上には果汁褐変に関する主要なQTLが座乗する ○森本拓也・大西弘法・伴野潔 (信州大農学部)	果 052 葉柄汁液中硝酸態窒素と葉色による「青島温州」の栄養診断の検討 ○中村明弘・吉川公規 (静岡農林技術果樹研セ)	野 007 蓄熱式栽培環境制御システムにおける高生産・省エネ栽培技術の開発 (第3報) 栽培密度がトマトの収量に及ぼす影響 ○木野本真沙江 ¹ ・菊池聡 ¹ ・吉田剛 ⁴ ・渡辺公博 ² ・伊澤健一 ³ (栃木農試, ² (株)誠和, ³ ネボン(株), ⁴ 栃木下都賀農振)	育種・品種特性(ウリ科) 石川友子 野 028 メロン果実の果形に及ぼす単性花性の影響 ○坂田好輝・吹野伸子・小原隆由・杉山充啓・吉岡洋輔 (農研機構野菜茶研)	品種特性・育苗(ネギ等) 西畑秀次 野 048 ワケギ新品種「広島13号」の夏季栽培特性 ○古田貴音 ¹ ・西濱健太郎 ² ・重本直樹 ³ ・池田好伸 ¹ ・松下利恵 ² ・川口岳芳 ¹ (広島総研農試セ, ² 広島総研食品工試セ, ³ 広島総研保健環境セ)
10:45	イチジク・ピワ 大川克哉 果 008 イチジク「キバル」台接ぎ木苗生産における育苗法の違いが苗木の生育に及ぼす影響 ○牛島孝策・村本晃司・草野成夫 (福岡農総試果樹苗木分場)	果 030 リンゴ小球形潜在ウイルスベクターを用いたアングスの遺伝子機能評価系の開発 ○河井崇 ¹ ・五ノ井彩子 ¹ ・山岸紀子 ² ・吉川信幸 ² ・海道真典 ¹ ・田尾龍太郎 ¹ (京都大院農学研究所, ² 岩手大農学部)	果 053 カンキツ培養砂じょうの糖・酸含量に及ぼす培地中の代謝阻害剤の影響 ○佐藤優賛・田丸友紀・向井啓雄・八幡昌紀・原田久・高木敏彦 (静岡大農学部)	野 008 抑制トマトの不織布ポット栽培において育苗方法・培地量および仕立て方法が生育・収量におよぼす影響 ○川上暢喜・小澤智美・塩川正則 (長野野菜茶試)	野 029 世界のキュウリにおける果実の物性と細胞の大きさの品種間差違 ○下村晃一郎・安東赫・堀江秀樹・杉山充啓・川頭洋一・吉岡洋輔 (農研機構野菜茶研)	野 049 幅広い作型に適応する短葉性ネギF ₁ 品種「ゆめわらべ」の育成とその特性 ○若生忠幸 ¹ ・塚崎光 ¹ ・山下謙一郎 ¹ ・小原隆由 ¹ ・小島昭夫 ¹ ・山崎篤 ² ・山崎博子 ² (農研機構野菜茶研, ² 農研機構東北農研)
11:00	果 009 肥培管理がいや地被害イチジク樹の生育に及ぼす影響 ○細見彰洋・婦山維子・内山知二 (大阪環水研)	果 031 クリにおける開花関連遺伝子の単離と解析 ○角田鈴奈 ¹ ・兒玉隆 ¹ ・高津康正 ² ・東尾久雄 ¹ ・井上栄一 ¹ (茨城大農学部, ² 茨城生工研)	カンキツ2 金好純子 果 054 ワンシュウミカン果皮のCO ₂ 固定特性とその輸送経路 ○鈴木麻友・西村浩志・名田和義・平塚伸 (三重大院生物資源学研究所)	養液栽培(トマト) 安田雅晴 野 009 トマト一段密植栽培における培養液濃度上昇時期の違いによる吸収濃度、収量、糖度の季節間差異 ○吉富彩子・浄閑正史・塚越覚・丸尾達・北条雅章・中南暁夫・篠原温 (千葉大園芸学部)	野 030 メロンにおける単為結果性の育種素材探索と遺伝効果の推定 ○吉岡洋輔・下村晃一郎・杉山充啓 (農研機構野菜茶研)	野 050 加熱加工に適した高乾物率・高Brixの春まきタマネギ品種「北見交54号」の特性 ○柳田大介 ¹ ・杉山裕 ¹ ・田中静幸 ² (北海道北見農試, ² 北海道花・野菜技セ)
11:15	果 010 水耕栽培のピワから収集した根分泌物が実生苗の生育に及ぼす影響 ○島木康徳 ¹ ・家壽多正樹 ² (千葉農林総研暖地園研, ² 千葉農林総研セ)	リンゴ 伊藤大雄 果 032 リンゴにおける1-MCP 収穫前散布の効果 ○守谷(田中)友紀・岩波宏・本多親子・和田雅人 (農研機構果樹研)	果 055 ワンシュウミカン由来ゼベリン20酸化酵素遺伝子の機能解析 ○古藤田信博 ¹ ・矢野加奈子 ¹ ・松尾哲 ² ・本多一郎 ³ ・藤井浩 ¹ ・島田武彦 ¹ ・遠藤朋子 ¹ ・清水徳朗 ¹ (農研機構果樹研, ² 農研機構野菜茶研, ³ 前橋工科大)	野 010 北海道の高糖度トマト夏季養液栽培における灌水量および側枝葉利用技術が収量性に及ぼす影響 ○地子立 ¹ ・小松勉 ² ・安岡眞二 ³ (北海道総研機構上川農試, ² 北海道総研機構中央農試, ³ 北海道総研機構十勝農試)		野 051 賀茂十一野菜の増殖方法の検討 ○山際豊・馬場富二夫 (静岡農林研伊豆農研セ)
11:30	ブルーベリー 渡邊学 果 011 収穫労力削減を目的としたブルーベリー「プライトウェル」における房採り収穫の検討 ○神谷健太・村上覚・佐々木俊之・高橋和彦 (静岡農林技術果樹研セ)	果 033 リンゴ果実の日焼け発生に及ぼす熟と光の影響 ○福田勉・小川秀和・船橋徹郎・小松宏光 (長野果樹試)	果 056 カワラヨモギ抽出物含有製剤処理が「河内晩柑」果皮のフラボノイド、糖、有機酸、PAL活性に及ぼす影響 ○井上久雄 ¹ ・大嶋悟士 ² ・熱田博之 ² ・三好孝典 ³ ・越智洋之 ¹ ・菊地毅洋 ¹ ・水谷房雄 ⁴ (愛媛農林水産研果樹研セみかん研, ² 阪本薬品工業(株), ³ 愛媛農林水産研果樹研セ, ⁴ 愛媛大農学部)	野 011 培地を用いたトマト有機質肥料活用型養液栽培 ○榊田泰宏 ¹ ・原正之 ¹ ・磯崎真英 ¹ ・篠原信 ² (三重農研, ² 農研機構野菜茶研)		
11:45	果 012 ブルーベリー果実収穫直後に異なる日長および温度制御した樹体における開花および新梢成長応答 ○堀内尚美 ¹ ・車敬愛 ¹ ・Thanda Aung ² ・真弓優里香 ³ ・萩原勲 ^{1,2,3} (東京農工大農学部, ² 東京農工大院連合農学研究所, ³ 東京農工大院農学府)	果 034 リンゴの1世代を1年に短縮する世代促進技術 ○山岸紀子・吉川信幸 (岩手大農学部植物病理学研究室)				

第1日 3月23日(土) 10:30～12:00

G会場 L0022 野菜Ⅳ	H会場 L0031 花きⅠ	I会場 L0033 花きⅡ	J会場 L0035 花きⅢ	K会場 L1331 利用Ⅰ	時間
<p>野 070 異なる光条件下で栽培したミョウガの香り成分 ○風間さとみ¹・金澤淳基²・池浦博美¹・鈴木栄²・野坂武司³・半田高¹・萩原勲²(¹明治大農学部,²東京農工大院農学部,³カネコ種苗(株))</p>	<p>香り 湯本弘子 花 007 リモネン合成酵素遺伝子を導入したラバンジン (<i>Lavandula × intermedia</i> Emeric) 花穂で見られる精油成分比の変化 ○浅田裕志・津呂正人(名城大農学部)</p>	<p>花 027 異なる光質および赤色光と遠赤色光の混合照射がヒマワリの生育・開花に及ぼす影響 ○菅原敬¹・渡部由理²・酒井友幸³・島浩二⁴・山田真³・石渡正紀⁵・久松完⁶(¹山形庄内産地研,²山形酒田農普,³山形農総研セ園試,⁴和歌山農試暖園セ,⁵パナソニック(株),⁶農研機構花き研)</p>	<p>花 043 太陽電池を利用したLEDの近接照射が棚下の観葉植物の生育に及ぼす影響 ○新井聡・平野哲司(愛知農総試園芸研究部花き研究室)</p>	<p>流通・収穫後生理 久保康隆 利 007 氷温貯蔵を利用した夏秋どりイチゴ果実の鮮度保持 ○島岡亮介・鈴木絵里奈・成定希・志村華子・鈴木卓(北海道大院農)</p>	10:30
<p>野 071 培養液へのNaCl添加が養液栽培シュンギクの生育・食味などに及ぼす影響 ○山崎基嘉・佐野修司(大阪環農水研)</p>	<p>花 008 切り花カーネーションの発散香り成分組成とその経日的变化 ○岸本久太郎・中山真義・大久保直美(農研機構花き研)</p>		<p>繁殖・栽培・作型 窪田聡 花 044 山口県が育成した小輪系ユリ「のりん」片子球からの球根増殖特性 ○篠原裕尚¹・光永拓司¹・福光優子¹・藤田淳史¹・平田翔²・堂之下歩美³・嘉本絵梨³・山内直樹³・執行正義³(¹山口農総技セ,²鳥取大院連合農学研究所,³山口大農学部)</p>	<p>利 008 輸送時の荷傷みを低減するオウトウ用新型容器の開発 ○仲條善志幸¹・小野寺玲子^{1,2}・伊東良久³・奥山聡¹・原田芳郎¹・今部恵里¹・佐藤光明¹・今野勉^{1,4}・米野智弥¹・佐藤康一^{1,5}・須藤佐藏¹(¹山形農総研セ園試,²山形村山総支農技普課,³日本トーカンパッケージ(株),⁴山形農大校,⁵山形庄内総支農技普課)</p>	10:45
<p>栽培・生理(その他) 山崎基嘉 野 072 トレイサイズおよび苗立数がトウモロコシ成型苗の生育および根鉢形成に及ぼす影響 ○新藤聡¹・松本洋俊²・松原紀嘉¹・渡辺均¹(¹千葉大環境健康フィールド科学セ,²アミタ持続可能経済研究所(株))</p>	<p>花 009 ユリ野生種の香りに関する研究(第3報) スゲユリの香り成分の解析 ○大久保直美¹・大石勝彦²・荒川克郎³(¹農研機構花き研,²元神奈川フラワーセ,³元(財)札幌市公園緑化協会)</p>		<p>花 045 小輪性LAユリ「ピカリ」におけるりん片繁殖子球を利用した切り花栽培 ○大宮知(北海道花野技セ)</p>	<p>利 009 セイヨウナシ「ラ・フランス」果実における収穫後のデンプンの消失に関する研究 ○村山秀樹¹・鈴木恵里子¹・板井章浩²・及川彰¹(¹山形大農学部,²鳥取大農学部)</p>	11:00
<p>野 073 実エンドウの葉位別の光合成産物の分配 ○川西孝秀¹・小谷真主^{1,3}・松本比呂起¹・下田星児^{2,4}・楠茂樹¹・吉本均¹(¹和歌山農試暖地園セ,²農研機構近畿中国四国農研,³農林水産省生産局農産部,⁴農研機構北海道農研)</p>	<p>色 岸本早苗 花 010 黒色系ダリアでは花卉のシアニン量が多い ○出口亜由美¹・大野翔^{1,2}・細川宗孝¹・立澤文見³・土井元章¹(¹京都大院農学研究科,²学振特別研究員DC2,³岩手大農学部)</p>		<p>花 046 地温がランタンキュラスの生育開花に及ぼす影響 本田由美子²・○永友佑樹¹・中村薫¹・郡司定雄¹(¹宮崎総農試,²宮崎西諸県農林振興局)</p>		11:15
<p>野 074 湛水処理がサトイモの葉温、葉色および光合成速度に及ぼす影響 ○池澤和広¹・岩井純夫²(¹鹿児島農開発総セ,²鹿児島大院連合農学研究所)</p>	<p>花 011 青紫系ダッチアイリス品種の花色素発現の機構 ○水野貴行¹・藪谷勤²・岩科司^{1,3}(¹東京農工大連合農学研究科,²宮崎大農学部,³国立科博植物研究部)</p>		<p>花 047 蜜源植物を利用した遊休農地の保全対策 ○生方雅男・田中静幸(北海道総研機構花・野菜技セ)</p>		11:30
<p>野 075 栽培方式の違いが葉茎葉類の生育および根系に及ぼす影響 ○東尾久雄(茨城大農学部)</p>	<p>花 012 白花ベチュニア品種におけるフラボノイド生合成系の解析—白花の第4の成因— ○松戸絵理¹・松原紀嘉²・渡辺均²・安藤敏夫¹(¹千葉大院園芸学研究所,²千葉大環境健康フィールド科学セ)</p>				11:45

時間	A 会場 L1321 果樹 I	B 会場 L0021 果樹 II	C 会場 L0026 果樹 III	D 会場 L0011 野菜 I	E 会場 L0012 野菜 II	F 会場 L0013 野菜 III
9:00	<p>カンキツ等 向井啓雄</p> <p>果 013 夏季の乾燥処理がレモンの夏 秋季の開花に及ぼす影響 ○赤阪信二・軸丸祥大・塩 田俊・金好純子・中元勝彦 (広島総研農技セ)</p>	<p>ブドウ 薬師寺博</p> <p>果 035 光質の相違とブドウ果実の ABA 代謝およびアントシア ニン代謝関連遺伝子の反応 ○富山博之¹・大川克哉¹・ 小原均¹・菅谷純子²・寺原 典彦³・平井伸博⁴・近藤悟¹ (¹千葉大院園芸学研究所, ²筑波大院生命環境系,³南 九州大健康栄養学部,⁴京都 大院農学研究科)</p>		<p>育苗・組織培養 (トマト等) 名田和義</p> <p>野 012 ミニトマトにおける育苗中の 摘心および摘葉処理が複花房 の発生と花数に及ぼす影響 ○西西修志 (香川農試)</p>	<p>病害・生理(ウリ科) 坂田好輝</p> <p>野 031 クローンを利用した反復可能 なメロンつる割病抵抗性検定 法の開発 ○石川友子¹・金倉澤¹・八 城和敏¹・小河原孝司²・大 澤良³・石井亮二¹(¹茨城 農総セ生工研,²茨城農総セ 園研,³筑波大生命環境)</p>	<p>栽培(アスパラガス) 前田智雄</p> <p>野 052 アスパラガス1年養成株を用 いたトンネル内伏せ込み促成 栽培試験における収量と吸収 根との関係 芳賀紀之¹・元木悟²・北 澤裕明³・浦上敦子⁴・山崎 篤⁵・山口貴之⁶・松永邦則⁷・ 新里仁克⁸・渡辺慎一⁹・瀧 澤民雄¹⁰・二木仁¹⁰・酒井 浩晃¹¹・植野玲一郎¹²・池 内隆夫¹³・常盤秀夫¹⁴・田 村綾¹⁵・山田文典¹⁶・小泉 丈晴¹⁶(¹福島県庁,²明治 大農,³農研機構食総研,⁴農 研機構野菜茶研,⁵農研機構 東北農研,⁶岩手農研セ,⁷バ イオニア・エコサイエンス (株),⁸沖縄農研セ,⁹農研 機構九州沖縄農研,¹⁰JA ち くま,¹¹長野野菜花き試,¹² 北海道道南農試,¹³香川 農試,¹⁴福島農総セ,¹⁵高知 農技セ,¹⁶群馬農技セ)</p>
9:15	<p>果 014 プラスチックパイプ型枠を利用 した円筒形レモン果実生産の 可能性 ○西川祐司¹・玉井正弘³・ 金好純子²・赤阪信二²・中 元勝彦²・田平公孝¹・松下 修司¹(¹広島総研西部工技 セ,²広島総研農技セ,³広島 総研食工技セ)</p>	<p>果 036 果実袋および笠の利用方法が ブドウ 'クイーンニーナ' の 着色に及ぼす影響 ○峯村万貴・泉克明 (長野 果樹試)</p>		<p>野 013 閉鎖型苗生産システムにおけ る環境条件がトマト苗の第一 花房着生節位の揃いおよび生 育に及ぼす影響 ○大谷智之¹・北条雅章²・ 丸尾達¹・浮間正史¹・塚越 寛²・篠原温¹(¹千葉大院 園芸学研究所,²千葉大環境 健康フィールド科セ)</p>	<p>野 032 誘引の高さによる LAI の違い が養液栽培キュウリの生育に 及ぼす影響 ○安東赫・下村滉一郎・東 出忠桐・岩崎泰永・河崎靖 中野明正 (農研機構野菜茶 研)</p>	<p>野 053 ベレットボイラー温水による アスパラガス伏せ込み生 産体系 ○荒木肇¹・市川伸次¹・中 野英樹¹・河合孝雄¹・地子 立²・二階堂華那²・山形定³・ 立上光司⁴(¹北海道大北方 生物園セ,²北海道大院環 境科学院,³北海道大工院,⁴北 海道工試)</p>
9:30	<p>果 015 クロロフィル蛍光分析による パッションフルーツの高温ス トレス評価 ○島田温史・久保達也・富 永茂人・山本雅史 (鹿児島 大農学部)</p>	<p>果 037 ブドウ 'シャインマスカット' におけるベレゼン期の各種 処理が果皮褐変障害の発生に 及ぼす影響 ○持田圭介・内田吉紀 (島 根農技セ)</p>		<p>野 014 花房除去および摘心がトマト 小葉基部の葉柄組織からのダ イレクトシュート発生に及ぼ す影響 ○伊達修一¹・三溝啓太²・ 寺林敏¹(¹京都府立大院生 命環境科学研究所,²京都府 立大生命環境学部)</p>	<p>野 033 温室メロン果実の糖集積に及 ぼすシュートヒータの装着位 置および個数の影響 ○加納恭卓¹・鈴木章文²・ 市原敬¹・城戸口達也¹・新 宅恵¹・吉田恭子¹(¹石川 県立大,²愛知東三河農林水 産事務所)</p>	<p>野 054 長野県内におけるアスパラガ スの収量に及ぼす要因の解析 ○酒井浩晃¹・鈴木剛伸^{1,3}・ 塩川正則⁴(¹長野野菜花き 試,²長野農試,³長野果樹試)</p>
9:45	<p>ニホンナシ 板井章浩</p> <p>果 016 施肥量がニホンナシ「あきづ き」の果肉障害の発生に及ぼ す影響 ○島田智人¹・片野敏夫¹・ 大庭恵美子¹・井上博道²・ 羽山裕子²・山根崇嘉¹ (¹埼玉農林総研セ園芸研, ²農研機構果樹研)</p>	<p>果 038 花冠除去方法の違いがブドウ 'ルゼーロマン' のさびおよび 裂果発生に及ぼす影響 ○玉村壮太・松田賢一・中 村史也・中野真一 (石川農 林総研セ農試砂丘地農研セ)</p>		<p>野 015 ナスの in vitro 全茎切断におけ る窒素欠乏前処理がシュート 形成に及ぼす影響 ○田中秀幸・藤岡ももこ・ 黒田恵子・古川一・手塚孝 弘・小田雅行 (大阪府大院 生命環境科学研究所)</p>	<p>遺伝子解析・遺伝資源 (トマト等) 小野寺康之</p> <p>野 034 トマト ERF ファミリー転写 因子 SIERF52 は花柄の脱離を 制御する ○中野年継・藤澤雅樹・嶋 羊子・伊藤康博 (農研機構 食総研)</p>	<p>栽培・生理等 (アスパラガス) 園田高広</p> <p>野 055 アスパラガス半促成長期どり 栽培における夏秋期の異常若 茎の発生に影響を及ぼす要因 第2報 ○池内隆夫 (香川農試)</p>
10:00	<p>果 017 土壌水分の違いおよびエセフ フォン処理がニホンナシ「あき づき」の果肉障害発生に及ぼ す影響 ○尾形夏海¹・大川克哉¹・ 小原均²・近藤悟¹(¹千葉 大院園芸学研究所,²千葉大 環境健康フィールド科セ)</p>	<p>カキ 鉄村琢哉</p> <p>果 039 カキ '太秋' の CPPU 展葉期 散布によるへたすき抑制と両 性花実の生産 ○新川良一・鈴木哲也 (岐阜 農技セ)</p>		<p>生理(トマト) 丸尾達</p> <p>野 016 補光による明期延長が中玉ト マト果実の Ca 濃度と尻腐れ 果発生に及ぼす影響 ○大山光男・吉田裕一・後 藤丹十郎・村上賢治 (岡山 大院環境生命科学研究科)</p>	<p>野 035 トマト ADP-glucose pyrophosphorylase <i>AgsP1</i> 遺 伝子 RNAi 形質転換体の特 性解析 ○松倉千昭¹・佐藤未来¹・ 小岩央幸¹・Rothan Christophe²・Gibon Yves²・ 福田直也¹・江面浩¹(¹筑 波大院生命環境科学研究所, ²フランス国立農学研究所 (INRA) ホルダー研)</p>	<p>野 056 アスパラガス幼苗における生 育ステージ依存的休眠導入の 品種間差 ○山口貴之^{1,2}・前田智雄³ (¹岩手農研セ,²岩手大院連 合農学研究所,³弘前大農学 生命科学部)</p>
10:15	<p>果 018 休眠ステージや耐凍性獲得の 進捗がニホンナシ「幸水」の 導管液の糖含量に及ぼす影響 ○伊東明子・杉浦俊彦・阪 本大輔・中島育子・今井剛・ 森口卓哉 (農研機構果樹研)</p>	<p>果 040 軟 X 線照射花粉を受粉したカ キ果実の成熟について ○尾形凡生¹・草島裕也¹・ 濱田和俊¹・山根信三¹・中 島国男²(¹高知大農学部, ²ケイワン (株))</p>		<p>野 017 無線センサネットワークを用 いた植物群落下内透過率の分 散常時モニタリング機構 ○下城拓也¹・近藤勇²・森 戸貴¹・鈴木誠¹・李斗煥¹・ 福田直也²・森川博之¹ (¹東京大先端科学技術セ, ²筑波大農林技セ)</p>	<p>野 036 非辛味トウガラシ No. 3341 (Capsicum chinense) におけ る caffeic acid O-methyltransferase (Comt) の変異 Koeda Sota¹・Sato Kosuke¹・ Sakakibara Toshio¹・Kitajima Akira (京都大院農学研究科 附属農場)</p>	<p>野 057 アスパラガス改植圃場におけ るソルゴー作付けと土壌消毒 前後の土壌環境の変化 ○井上勝広¹・山口通仁²・ 松本卓生³・大津善雄¹ (¹長崎農技開発セ,²長崎県 農林部,³エーゼイ生科研 (株))</p>

第2日 3月24日(日) 9:00～10:30

G会場 L0022 野菜IV	H会場 L0031 花きI	I会場 L0033 花きII	J会場 L0035 花きIII	K会場 L1331 利用I	時間
	<p>色・遺伝子解析 仁木智哉</p> <p>花013 新規 MYB 遺伝子がスカシユリにおけるしぶき斑点の形成に関わっている ○山岸真澄¹・戸田真也²・田崎啓介¹(¹北海道大院農学研究院,²北海道大農学部)</p> <p>花014 デルフィニウムのポリアシル化アントシアニン生成に関わるアシルグルコース依存型アントシアニン配糖化酵素遺伝子の解析 ○西崎雄三¹・安永元樹¹・岡本充智²・廣瀬由紀夫²・宮川菜月¹・小関良宏¹・佐々木伸大¹(¹東京農工大工学部生命工学科,²愛媛農林水産研)</p> <p>花015 赤色系デルフィニウムにおける F3'5'H 遺伝子の解析 ○佐々木伸大¹・宮川菜月¹・西崎雄三¹・岡本充智²・廣瀬由紀夫²・小関良宏¹(¹東京農工大工学部生命工学科,²愛媛農林水産研)</p> <p>花016 イオンビーム照射カーネーション花色変異株の F3'H 遺伝子の解析 ○山本悠加¹・岡村正愛²・西崎雄三¹・梅基直行²・小関良宏¹・佐々木伸大¹(¹東京農工大工学部生命工学科,²キリン(株)基盤技研)</p> <p>花形・遺伝子組換え 佐々木伸大</p> <p>花017 RAD シーケンシングによるトルコギキョウの八重咲き形質に関連する遺伝子の探索 ○石森元幸¹・宮坂昌実²・河崎実之¹(¹東京大院農学生命科学研究科,²長野野菜花き試)</p> <p>花018 トレニアの易変性系統「雀斑」の自殖後代に現れた新規変異体「八重咲」 ○西島隆明^{1,2}・仁木智哉^{1,2}(¹農研機構花き研,²筑波大院生命環境科学研究所)</p>	<p>キク・開花生理 稲本勝彦</p> <p>花028 防蚊用黄色パルス光の放射照度が数種の輪ギク品種の発蕾、開花および切り花形質に及ぼす影響 ○石合聡^{1,2}・後藤丹十郎³・梶原真二¹・原田秀人¹・福島啓吾¹(¹広島総研農技セ,²岡山大院自然科学研究科,³岡山大院環境生命科学研究科)</p> <p>花029 LED 間欠電照が秋ギクの生育及び開花に及ぼす影響 ○古市崇雄・瀬尾龍右(香川農試)</p> <p>花030 夏秋咲き小ギクの電照時間帯の違いによる生育及び開花期に及ぼす影響 ○鈴木安和・宗方宏之・矢島豊・矢吹隆夫(福島農総セ)</p> <p>キク・発育・開花生理 石倉聡</p> <p>花031 キク「神馬」の花芽分化抑制に必要な 630nm と 690nmLED の最低強度 ○廖易^{1,2}・加藤葵³・鈴木健太³・庄得鳳¹・小笠原利恵¹・嶋津光鑑³・河本英二⁴・福井博一³(¹岐阜大連合農学研究科,²中国熱帯農科院,³岐阜大応用生物科学部,⁴前田硝子)</p> <p>花032 キク「神馬」,「岩の白扇」および「セイオプティ」の花芽分化に関する遺伝子発現 ○高井康弘¹・庄得鳳²・廖易²・小笠原利恵²・嶋津光鑑¹・福井博一¹(¹岐阜大応用生物科学部,²岐阜大連合農学研究科)</p> <p>花033 キク「神馬」由来系統の無側枝性判定のための in vitro 評価法の検討 ○植松敏一¹・峯大樹¹・茶谷正孝²(¹長崎農林技開発セ,²長崎岩岐振興局)</p>	<p>遺伝資源 國分尚</p> <p>花048 神奈川県および周辺地域におけるヤマユリ集団の遺伝的多様性について ○山下圭亮¹・露木裕太¹・山本将²・半田高¹(¹明治大農学部,²明治大院農学研究科)</p> <p>花049 SSR 解析による伊豆諸島のサクユリ野生集団の遺伝的多様性解析 ○山本将¹・菊地哲理²・半田高²(¹明治大院農学研究科,²明治大農学部)</p> <p>花050 ハナスベリヒユの学名について ○柴田道夫¹・間電太郎²(¹東京大院農学生命科学研究科,²農研機構花き研)</p> <p>花052 アジサイ新品種「きらきら星」の育成と花色の変化性 ○小玉雅晴¹・渡辺強¹・坂本あすか²(¹栃木農試,²栃木県塩谷南那須農業振興事務所)</p> <p>花053 スイトピーの花の斑入り形質は着色制御遺伝子を上位とする劣性遺伝子により制御される ○柳下良美^{1,2}・原靖英¹・中山真義^{2,3}(¹神奈川農技セ,²筑波大院生命環境学研究所,³農研機構花き研)</p>	<p>放射能・加工・酵素 櫻井直樹</p> <p>利010 農産物の加工と放射性物質の動態(第2報) ○関澤春仁・山下慎司・丹治克男(福島農総セ)</p> <p>利011 北海道産及び他県産サツマイモの食味及び澱粉糊化特性の比較 ○高濱雅幹¹・野田智昭²・植野瑤一郎¹・宗形信也¹(¹北海道道南農試,²北海道花・野菜技セ)</p> <p>利012 異なる種類の植物における葉の抽出液がもつ RNase 活性の比較 細川宗孝・○神田絃子・土井元章(京都大院農学研究科)</p> <p>利013 トマト茎葉部揮発性成分の食中毒原因菌に対する抗菌性評価 ○寺崎亮・池浦博美・半田高・早田保義(明治大農学部)</p> <p>利014 コリアンダー揮発性成分のトマトかいかいよう病菌に対する抗菌性評価 ○河那邊博之・池浦博美・半田高・早田保義(明治大農学部)</p> <p>利015 銀ナノ微粒子および温度条件がケイオウザクラ切り枝の花の品質におよぼす影響 ○後藤賢子¹・栗原正人²・坂本政臣²・池田和生³・及川彰¹・村山秀樹¹(¹山形大農学部,²山形大理学部,³山形大農学部やまがたフィールド科セ)</p>	<p>9:00</p> <p>9:15</p> <p>9:30</p> <p>9:45</p> <p>10:00</p> <p>10:15</p>

第2日 3月24日(日) 10:30～12:00

時間	A 会場 L1321 果樹 I	B 会場 L0021 果樹 II	C 会場 L0026 果樹 III	D 会場 L0011 野菜 I	E 会場 L0012 野菜 II	F 会場 L0013 野菜 III
10:30	<p>果 019 定植後のシアナミド剤とジベレリンペースト及びマルチ処理がニホンナシ苗木の生育に及ぼす影響 ○戸谷智明¹・加藤修¹・富山政之²・梶真澄³(¹千葉農林総研セ,²日本カーバイド工業(株),³協和発酵バイオ(株))</p>	<p>果 041 良質な干し柿となる市田柿原料果実の品質評価 ○小仁所邦彦¹・船橋徹郎²・小野剛史³・竹内正彦⁴・滝沢潤⁴・松澤恒友⁵(¹長野南信農試,²長野果樹試,³長野農試,⁴長野農村工業研,⁵信州大工学部)</p>		<p>野 018 クロロフィル蛍光シーリング法を用いた低段密植トマト群落における光合成測定ターゲット葉の決定 ○名田和義¹・土井勇佑²・磯崎真英³・増田実³・鈴木賢³・小西信幸³・亀岡孝治¹・平塚伸¹(¹三重大院生物資源学研究所,²三重大院生物資源学部,³三重農研)</p>	<p>野 037 トマトの染色体断片置換系統を用いた糖度 QTL の単離に関する研究 ○池田裕樹¹・白澤健太²・西山学¹・金浜耕基¹・金山喜則¹(¹東北大院農学研究所,²かずさ DNA 研)</p>	<p>栽培・病害虫等 (アブラナ科) 星野英正 野 058 越冬無加温ハウス栽培によるキャベツの4～5月収穫 ○新井正善・篠田光江・本庄求(秋田農試)</p>
10:45	<p>休眠等 菅谷純子 果 020 ブドウ‘シャインマスカット’の芽における温度と自発休眠覚醒との関係 ○杉浦裕義・山崎安津・東曉史・薬師寺博(農研機構果樹研)</p>	<p>モモ等 別府賢治 果 042 モモ果実品種‘ひだ国府紅しだれ’の特性 1.春季における耐凍性 ○宮本善秋¹・神尾真司¹・杉浦俊彦²(¹岐阜県中山間農研,²農研機構果樹研)</p>		<p>育種・栽培(ナス科) 三村裕 野 019 異なる発病地から採取した半身萎凋病菌に対するナス品種・系統の抵抗性程度 ○齊藤猛雄¹・古賀武²・松永啓¹・斎藤新¹・鈴木洋平³(¹農研機構野菜茶研,²福岡農試(筑後),³福島県北農林事務所伊達農業普及所)</p>	<p>マーカー・遺伝資源 (その他) 松倉千昭 野 038 世界各地から収集されたニンニク遺伝資源におけるアインザイム変異と諸特性の関連性について ○平田翔¹・山内直樹²・執行正義²(¹鳥取大院連合農学研究科,²山口大農学部)</p>	<p>野 059 キャベツ有機栽培における生育、収量および鱗翅目害虫による食害の特徴(第3報)有機移行圃場の3カ年の推移 ○石綿薫¹・千嶋英明¹・加藤茂¹・大久保慎二¹・徐啓聡^{1,2}・徐会連¹・岩石真嗣¹(¹(公財)自然農法セ農試,²信大理)</p>
11:00	<p>果 021 リング形質転換体を用いたウメ PmDAM6 遺伝子の機能評価 ○保坂友香里¹・山根久代¹・和田雅人²・本多親子²・田尾龍太郎¹(¹京都大院農学研究科,²農研機構果樹研)</p>	<p>果 043 モモ果実へのポリ袋による蒸散抑制が果肉障害の発生およびカルシウムの蓄積に及ぼす影響 ○山根崇嘉・羽山裕子・井上博道・草場新之助(農研機構果樹研)</p>		<p>野 020 乾植密度の違いがパプリカの乾物生産におよぼす影響 ○岩崎泰永・安東赫・河崎靖・東出忠桐・安場健一郎・中野明正(農研機構野菜茶研)</p>	<p>野 039 ネギにおける EST マーカーの開発 ○塚崎光¹・谷口成紀^{1,2}・佐藤修正³・片寄裕一⁴・金森裕之⁴・栗田加奈子⁴・伊藤剛⁴・熊谷真彦⁴・福岡浩之¹・山下謙一郎¹・執行正義⁵・McCallum John⁶・若生忠幸¹(¹農研機構野菜茶研,²学振特別研究員 PD³かずさ DNA 研,⁴生物研,⁵山口大農学部,⁶ニュージーランド植物食品研)</p>	<p>野 060 大型トンネルと電熱温床線による加温処理がダイコンの肥大と内部褐変症程度におよぼす影響 ○佐野大樹・若山幹夫・信岡佑太・石橋英二・各務裕史(岡山農林水産総合農研高冷地研究室)</p>
11:15	<p>果 022 冬季の気象条件によるクリの凍害発生予測の検討 ○神尾真司¹・水田泰徳²(¹岐阜県中山間農研中津川,²兵庫農試総セ)</p>	<p>果 044 モモの樹体ジョイント仕立てにおける樹体生育、果実生産および栽培管理の省力化 ○浜名洋司・須川瞬・平尾晃(広島総研農技セ)</p>		<p>野 021 発表取り消し</p>	<p>野 040 倍加半数体技術の効果的な利用による <i>Allium cepa</i> 連鎖地図の構築 ○岩田智志¹・塚崎光²・若生忠幸²・山内直樹¹・執行正義¹(¹山口大農学部,²農研機構野菜茶研)</p>	<p>栄養生理・生理活性物質 柳井洋介 野 061 ヘアリーベッチートマト輪作体系における前年施用ヘアリーベッチ由来窒素のトマトへの寄与率 ○杉原雄一¹・上野秀人²・平田聡之³・荒木肇³(¹北海道大院環境科学院,²愛媛大院農学部,³北海道大北方生物園セ)</p>
11:30		<p>果 045 キウイフルーツ‘レインボーレッド’における弾性指標による果実特性の評価 ○村上寛・神谷健太・佐々木俊之(静岡農林技研果樹研セ)</p>		<p>野 041 ナス遺伝資源の高密度 SNP タイピング ○福岡浩之¹・齊藤猛雄¹・白澤健太²・佐藤修正²・平川英樹²・宮武宏治¹・根来里美¹・山口博隆¹・布目司¹・大山曉男¹・松永啓¹・斎藤新¹(¹農研機構野菜茶研,²かずさ DNA 研)</p>	<p>野 062 ナバナ (<i>Brassica napus</i>) の成育と品質に及ぼす NaCl および KCl 施与の効果 ○藤井琢馬¹・名田和義¹・小西信幸²・平塚伸¹(¹三重大院生物資源学研究所,²三重農研)</p>	
11:45						<p>野 063 Cyanamide Toxicity Involves Induction of Oxidative Stress in Soybean Plants ○Maninang John・藤井義春(Tokyo University of Agriculture and Technology)</p>

第2日 3月24日(日) 10:30～12:00

G会場 L0022 野菜Ⅳ	H会場 L0031 花きⅠ	I会場 L0033 花きⅡ	J会場 L0035 花きⅢ	K会場 L1331 利用Ⅰ	時間
	<p>花 019 サイトカイニン関連遺伝子の花芽内の局所的な発現がトレンシアの花形に与える影響 ○仁木智哉^{1,2}・間竜太郎¹・仁木朋子¹・西島隆明^{1,2} (¹農研機構花き研,²筑波大院生命環境科学研究科)</p> <p>花 020 ユリ属における VIGS を目指したプロトタイプウイルスベクターの構築 ○田崎啓介¹・寺田寛之²・増田税¹・山岸真澄¹ (¹北海道大院農学研究院,²北海道大農学部)</p>	<p>病虫害・生理障害 松下陽介</p> <p>花 034 キクの黄斑発生を軽減する物質の探索 ○四谷亮介¹・後藤丹十郎²・森美由紀²・難波和彦²・江口直輝²・吉田裕一² (¹岡山大院自然科学研究科,²岡山大院環境生命科学研究科)</p> <p>花 035 紫外光 (UV-B) 照射によるバラうどんこ病の発病抑制効果—現地ガラスハウスにおける実証 ○神頭武嗣¹・植村一郎¹・山中正仁¹・佐藤衛²・小林光智衣²・久松完²・石渡正紀³・山田真³ (¹兵庫農林水産技総セ,²農研機構花き研,³パナソニック(株))</p> <p>花 036 キクは場周辺に生育する雑草からのキクわい化ウイルスの検出 ○中村恵章・福田至朗・栗山幸子・服部裕美・平野哲司・大石一史(愛知農総試)</p>	<p>花 054 SRAP 分析と形態形質の多変量解析による大船系シャクヤクの特徴調査と品種識別 ○佐藤亮輔¹・島田佳奈子¹・井手教字¹・山本祐子¹・堀越禎一²・益田泉²・半田高¹ (¹明治大農学部,²大船フラワーセンター)</p> <p>発育生理・組織培養 半田高</p> <p>花 055 難発芽性地生ランムカゴサイシン種子の非共生培養による発芽促進 ○三吉一光¹・山崎旬²・遊川知久³・國分尚¹・神戸敏成⁴ (¹千葉大院園芸学研究所,²玉川大農学部,³国立科学博物館筑波実験植物園,⁴富山中央植物園)</p> <p>花 056 光量がヒノキの発根に及ぼす影響 ○茂木靖和(岐阜森林研)</p> <p>花 057 発表取り消し</p>	<p>品質機能性・非破壊評価 瀧川重信</p> <p>利 016 キャベツ、タマネギおよびニンジンにおける部位別のミネラル含量 ○北村八祥¹・松田智子¹・原正之¹・吉村知世²・矢野竹男² (¹三重農研,²三重大院地域イノベーション学研究所)</p> <p>利 017 バナナのアルコール不溶性固形物に含まれる抗酸化活性成分について ○奈良一寛・辻本やすか(東京家政学院大)</p> <p>利 018 アロニアおよびハスカップ果実色素給餌によるラット脂質異常症の改善 ○高橋あずさ¹・清水久恵²・白崎はるの²・福田絵里²・坂口博英³・知地英征²・鈴木卓¹ (¹北大院農²藤女子大食物栄養,³日本新薬(株))</p> <p>利 019 非破壊振動法によるキウイフルーツの硬度と破壊硬度の相関について 梅西智美¹・中務浩昭³・櫻井直樹² (¹広島大総合科学部,²広島大院生物園科学研究所,³(株)フレッシュシステム)</p>	<p>10:30</p> <p>10:45</p> <p>11:00</p> <p>11:15</p> <p>11:30</p> <p>11:45</p>